

◆私は、高時川漁協の組合長をしています阪田です。

今日は、欠席にも拘わらず意見を述べる機会を与えていただき、ありがとうございます。

◆私は、この濁水問題にベルクスキー場跡地が深く関与し、その根源になっているという立場から再度、意見を述べたいと思います。資料（A3縦写真資料）をご覧ください。

◆左上の2枚の写真をご覧ください。スキー場閉鎖3年後の写真です。ゲレンデ最下部は大音波谷川の上に盛り土して造成されていたことが分かります。赤丸囲みの部分です。

◆次に、右上の2枚をご覧ください。昨年8月の豪雨以前の写真には、既にゲレンデ最下部の盛り土はなくなって、大音波谷川が現れています。盛り土はどのようになくなったのでしょうか。また、その大量の土砂はどこに行ったのでしょうか。

◆次に、左下の2枚の写真をご覧ください。2020年8月に撮影されている写真です。既にこの時には、ゲレンデ最下部の盛り土はなく、浸食を受けています。何らかの是正工事がされていたあとが見て取れます。

◆次に、右下の2枚の写真をご覧ください。今年の6月に撮影された写真です。昨年の豪雨によってさらに大きな浸食を受けています。豪雨直前まで是正工事が進められていました。

◆下のまとめをご覧ください。

- (1) ゲレンデ最下部は大音波谷川の上に盛り土により造成されていたことが見て取れます。
- (2) その盛り土部分は、2020年8月以前に既になくなっていて、どうしてなくなっているのか、調査していただきたいと思います。
- (3) 2017年と2022年の集中豪雨により大規模な浸食を受け、大量の土砂流出があったことが伺えます。濁水の長期化は2017年に始まっています。
- (4) 昨年以前の是正工事がいつ、どのような内容で行われていたのか、昨年の豪雨以前の荒廃状況についても精査していただきたいと思います。

◆今まで、ベルクスキー場跡地における、昨年以前の状況については、あまり問題視されていないように思います。濁水の長期化は、私の知る限りでは、2017年に始まっています。溪岸浸食等もさることながら、このベルクスキー場跡地の崩壊状況にもっと注視し、昨年以前の状況等も含めて精査していただきたいと思います。

◆また併せて今後、昨年と同規模の豪雨が発生したときに備えて、抜本的な対策を早急をお願いしたいと思います。

以上で意見発表を終わります。ありがとうございました。